

国語(帰国生入試)

2026 年度入試のねらいと出題方針

I 期

出題方針

日本語の基礎的知識や言葉の運用能力、論理的思考力のベースとなる読解力や表現力を問います。

具体的な作問の方針

1. 読解問題を 1 題、知識問題を 2 題出題します。
2. ㊦ の読解問題では、文章を読んで書き手の意図を論理的に読み取る力や、読み取った内容を論理的にまとめる力を問う問題を出題します。㊦ では漢字の書き取りなどの知識問題は出題しません。
3. ㊦・㊧ の知識問題では、漢字や語句、文法など、日本語の基礎的知識を問う問題と、知識の応用力を問う問題を出題します。
4. 漢字の書き取りや読み的问题是、小学校で習う 1026 字の中から出題します。
5. 知識問題については、小学校用教科書・中学受験用の問題集に出ている知識を中心に問題を出題します。

<問題構成>

- ㊦ 読解問題 (説明的文章)
㊦・㊧ 知識問題

<読解問題の主な出題形式>

- ① 選択形式
- ② 空欄補充形式
- ③ 抜き出し形式
- ④ 脱文挿入形式
- ⑤ 記述形式
 - 1 字数 a 字数指定なし
b 20 字程度
c 30～40 字程度 (長くて 50～60 字)
 - 2 a 言い換え型 (本文中の表現を別の言葉で言い換える問題)
b 要約型 (本文の内容を整理して筆者の意見や登場人物の心情を説明する問題)

解答を進める上でのアドバイス

1. 読解問題では、本文中に解答の根拠となる部分があります。文章の書き手や出題者の意図を的確に読み取り、解答の根拠となる部分を見つけましょう。
2. 時間が足りなかったことが原因で解けなかった問題が生じないように、過去問を通じて時間配分と解答順序のイメージをつかんで本番に臨むようにしましょう。

採点基準と配点について

1. 配点は、㊦ の読解問題が 30 点、㊦・㊧ の知識問題が 20 点です。
2. 記述問題の採点では、根拠が部分的にでも書けていれば、受験生の理解度の程度に応じてできるだけ部分点を与えるようにしています。
3. 漢字の採点については、漢字書き取り問題の場合は、トメ・ハネがいい加減なものや画数を 2 画で書くべきところを明らかに 1 画で書いているものは不正解としています。ただし、記述問題の解答

中の漢字については、トメ・ハネや画数が多少乱れていても減点の対象とはしません。

Ⅱ期（エッセイ）

出題方針

本校では海外で日本語から離れて生活していた帰国生に、入学後1年間、国語の取り出し授業を行い、漢字力や語彙力を補います。中学2年生から日本の学習指導要領に沿った授業に参加できる日本語力をお持ちかどうか、確認します。

具体的な作問の方針

1. 300字程度の条件付きの作文を1題出題します。
2. 自分の考えを、条件をふまえて日本語で述べることができるかどうかを問います。

解答を進める上でのアドバイス

1. 解答時間は15分です。まずは過去問にチャレンジしてみましょう。
2. 普段から漢字の練習をしたり分からない言葉を調べたりしましょう。

採点基準について

1. 条件をきちんとふまえて書けているか。
2. 正しい日本語の文法で書けているか。
3. 小学校4年生くらいまでに習う漢字が使えているか。また、正しく書けているか。
4. 作文の内容に関しては、採点の対象とはしません。